

改訂：2026年6月9日

Cisco N9300 シリーズ スマートスイッチの導入準備： ネットワーキングモードでのスイッチの動作

はじめに

Cisco N9300 シリーズ スマートスイッチは、データセンターでの拡張性が高く、セキュアで、効率的な運用を実現するために設計された統合型ネットワーク デバイスです。この記事では、Cisco N9300 シリーズ スマートスイッチの導入準備に不可欠な情報を提供します。特に、Cisco NX-OS リリース 10.6 (1s) で導入された新しいモデルと機能を強調します。

Cisco N9300 シリーズ スマートスイッチ

Cisco N9300 シリーズ スマートスイッチは、最新のデータセンター環境で高度なパフォーマンス、拡張性、セキュリティを提供します。これらのスイッチは、Cisco Silicon One E100 ASIC と統合データ処理ユニット (DPU) を備えており、ネットワーク効率を最適化し、ソフトウェア定義型サービスを実現します。

Cisco N9300 シリーズの 2 つのモデルを次に示します：

Cisco N9324C-SE1U スイッチ

Cisco N9324C-SE1U スイッチは 1 RU のソリューションで、以下の特徴を備えています。

- 高速ネットワーク用の 100G ポート X 24
- 高速接続と拡張性を提供する Cisco Silicon One E100 ASIC
- ソフトウェア定義型 ステートフルサービス を提供する 4 つの DPU

Cisco N9348Y2C6D-SE1U スイッチ

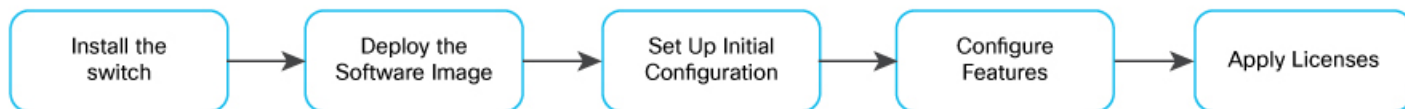
Cisco N9348Y2C6D-SE1U スイッチは、データセンター内の展開向けに設計された 1 ラックユニット (1RU) のトップオブラック (ToR) 固定ポートスイッチです。以下の特徴を備えています。

- 10G および 25G ポート X 48、40G および 100G ポート X 2、400G ポート X 6
- 高速接続と拡張性を提供する Cisco Silicon One E100 ASIC
- ソフトウェア定義型 ステートフルサービス を提供する 2 つの DPU

ネットワーク専用モードでの Cisco N9300 スマートスイッチの導入準備

スイッチをネットワーク専用モードで展開して、Cisco N9300 シリーズ スマートスイッチの動作を有効にします。

データセンターにネットワーク専用の機能を提供するために、次のタスクを実行して新しい Cisco N9300 スマートスイッチをオンラインにします。



- 1 スイッチの設置
- 2 ソフトウェアの展開
- 3 設定のセットアップ
- 4 機能の設定
- 5 ライセンスの適用

Before you begin

- 適切なラックスペースと電源がプロビジョニングされていることを確認します。
- 互換性のある実行用 64 ビット NX-OSイメージを入手します。「[ダウンロード](#)」を参照してください。
- 必要な機能に該当するライセンスが使用可能であることを確認します。

次の手順を実行して、ネットワーク専用モードで Cisco N9300 スマートスイッチの導入準備を行います。

ステップ1 スイッチをラックに設置します。

ハードウェア設置ガイドの説明に従って、Cisco N9324C-SE1U または N9348Y2C6D-SE1U スイッチを物理的に設置します。

- Cisco N9324C-SE1U : [Cisco N9324C-SE1U NX-OS-モードスイッチハードウェア設置ガイド](#)
- Cisco N9348Y26D-SE1U : [Cisco Nexus N9348Y2C6D-SE1U NX-OS-モードスイッチハードウェア設置ガイド](#)

ステップ2 スイッチにソフトウェアイメージを展開します。

N9300 シリーズ スマートスイッチ向けに必要な 64 ビットの Cisco NX-OS イメージを使用します。（例：`nxos64-s1-dpu.10.6.1s.F.bin`）。



32 ビット イメージはサポートされていません。

(注)

- 初期展開の場合は、電源オン自動プロビジョニング (POAP) を使用します。
- ソフトウェアのアップグレードまたはダウングレードを実行するには、「[Cisco Nexus 9000 シリーズ NX-OS ソフトウェア アップグレードおよびダウングレードガイド、リリース 10.6 \(x\)](#)」を参照してください。



中断を伴うアップグレードのみがサポートされます。

(注)

ステップ3 初期構成をセットアップします。

- コンソールまたはネットワーク接続を使用してスイッチにアクセスします。
- ホスト名、管理 IP アドレス、ユーザー ログイン情報、およびインターフェイスを設定します。
- データセンター トポロジに合わせてネットワーク インターフェイス、ポート速度、ブレイクアウトモードを設定します。

ステップ4 必要な機能を設定します。

- 展開での必要に応じて、レイヤ2またはレイヤ3、VXLAN、マルチキャスト、MPLS、セグメントルーティング、およびセキュリティ機能を有効にします。
- 自動化するためには、YANG モデル、NETCONF、RESTCONF、Python API、NX-API などのプログラマビリティ機能を使用します。

ステップ5 必要なライセンスを適用します。

必要な機能を有効にするには、有効なライセンス (Premier、Advantage、Essentials) をアタッチします
詳細については、「[Cisco NX-OS ライセンス ガイド](#)」および「[ポリシー ユーザー ガイドを使用した Cisco Nexus スマート ライセンシング](#)」を参照してください。

Cisco N9300 スマートスイッチが設置され、64 ビット NX-OS が実行され、ネットワーク専用の操作がライセンスされています。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。